

目黒区のごみについて知ろう



目黒区のごみ収集

目黒区のごみ収集についてどれくらい知っているかな？
それぞれ3つの中から選んでみよう。

集積所の数

- ①約220か所
- ②約2,200か所
- ③約22,000か所

1日に使う清掃車の数

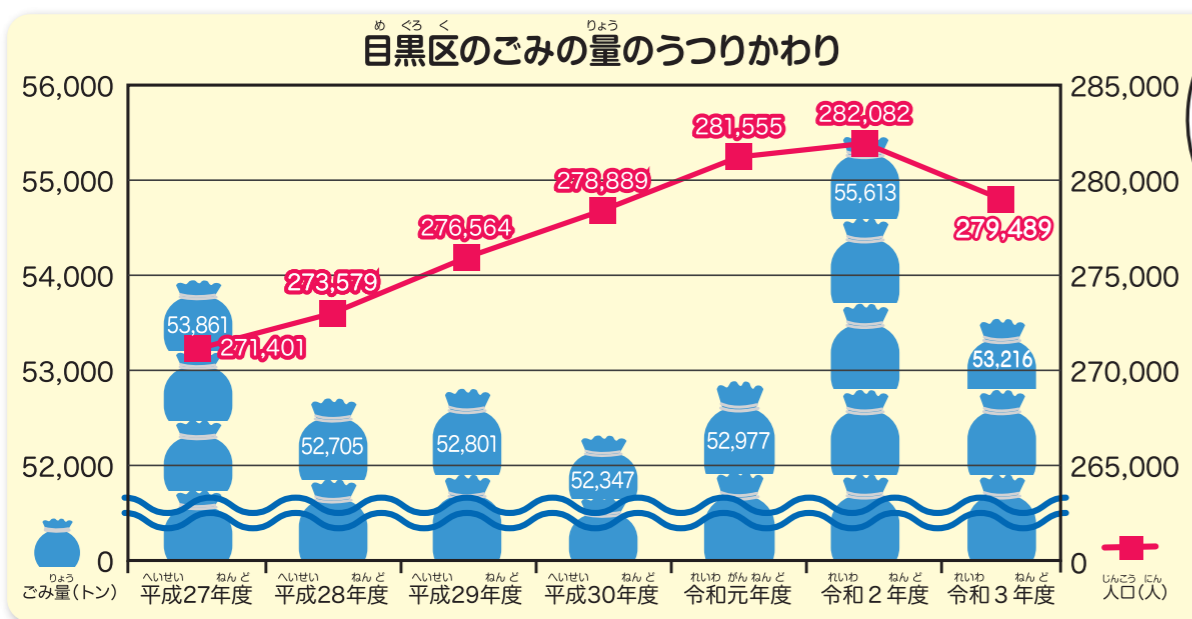
- ①約10台
- ②約100台
- ③約1,000台

1人1日あたりのごみの量

- ①52グラム
- ②522グラム
- ③5,220グラム

(全て令和3年度)

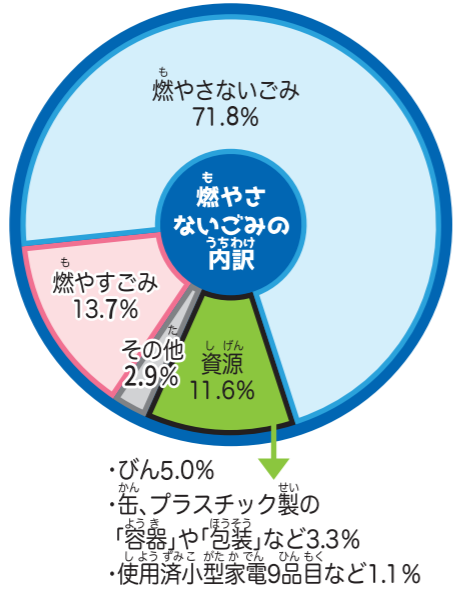
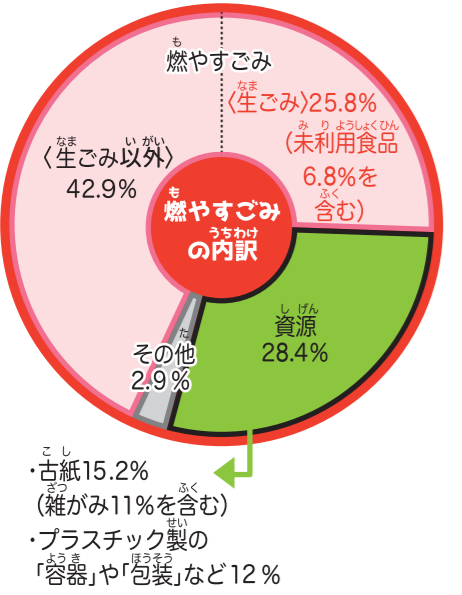
目黒区のごみ量



令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために、お家で過ごす時間が増えた影響で、お家から出るごみの量が増えたと考えられるよ。



ごみの中身を見てみると...



令和4年度に目黒区が実施した家庭ごみの調査によると、燃やすごみの中には、未利用食品を含めた生ごみが25.8%を占めています。また、資源化できる品目が28.4%も含まれています。燃やさないごみの中にも資源化できる品目が11.6%も含まれています。正しく分ければ、まだごみを減らせそうです！

目黒区のごみ目標

MGR100「1人1日100gのごみ減量」

目黒区では、区全体のごみを減らすために、「1人1日100gのごみ減量」を目標にしています。合言葉は「M(目黒)・G(ごみ)・R(リデュース)100」！令和3年度の1人1日あたりのごみ量は522グラムです。1人ひとりのちょっとした取り組みでごみを減らしていきましょう。

1人1日100gのごみを減らすと
100gってたとえば... ごはん小盛り1ぜん分

目黒区全体では年間約10,000トンも
ごみが減るよ！
10,000トンってたとえば... 小学校のプール×33杯分 (プール1杯約300トン)

「MGR100」達成に向けて「食品ロス」を減らそう！

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。日本の食品ロスは年間522万トンで※、1人1日当たりお茶わん約1杯分(約113グラム)の食べものが捨てられていることとなります。※農林水産省及び環境省「令和2年度推計」

「食品ロス」を減らす行動をしてみよう！

- 私達ができること**
 - 残さず食べる！
給食やお家での食事の時は、食べきれぬ量を盛りつけましょう。
 - 食材は必要な分だけを買って使い切る！
買い物前に冷蔵庫で食材チェック。料理するときはムダなく使い切りましょう。
 - 消費期限と賞味期限を正しく理解する！
消費期限 食べても安全な期限 賞味期限 おいしく食べることができる期限
賞味期限は過ぎてもすぐ捨てずに、見た目やにおいなどで判断しましょう。
- お家の人と一緒にできること**

「めぐる買い物ルール」でごみを減らそう！

リデュース ごみになるものを減らす リユース 繰り返し使う 食品ロス削減 本来食べられるのに捨てられてしまう食品(未利用食品)を削減する。	ルール1 ノーレジ袋のすすめ 区民約15万世帯が取り組みば1年間で約5,500万枚、385トンのごみが増えなくなります。 リデュース No Thank you! ×5,500万枚 = 385トンの削減	ルール2 パラ売りを減らそう！ まずは、包装のない野菜・果物のパラ売りから リデュース 食品ロス削減
ルール3 詰め替え商品を選ぼう！ すぐいらなくなるものはできるだけ少なく	ルール4 残さず食べる工夫をしよう！ 食べ物を大切に！習慣を見直してみよう	ルール5 「長く」繰り返し使おう！ 使い捨てず繰り返し使う工夫をしよう リユース

区では、「めぐる買い物ルール」を推進するお店を「買い物ルール参加店」、ルールのうち食品ロス削減に取り組みむお店を「食べきり協力店」として登録しています。お店の入口などにステッカーがはってあるので、ぜひ、見つけて、利用してみてください。

このステッカーが目印だよ！